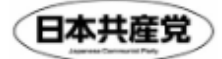




# 久保田由夫 ほっと通信



NO. 107  
2020. 12月号  
【部内資料】



発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください>



<季節の写真>

漬物といえば野沢菜。霜が当たったほうがおいしくなるらしい。

「12月議会一般質問で一番強調したことです。」 ◆新型コロナウイルスの感染拡大は個人の努力だけでは防ぎきれないと感じており、政治がこれまで以上に役割を果たすべき。◆公共施設の統廃合を含めた再編整備が具体化されるが、利用者を含め住民自治を最大限尊重すべき。◆地方行政のデジタル化は、国などが必要以上に個人情報取得することへの危惧のほか、明治以降に確立された世帯単位での統治という国の行政のあり方が税にも社会保障にも貫かれている。近代社会にふさわしい個人単位での行政システムに改革しない限り、行政のデジタル化で解決することは少ない。◆大企業は、リストラや労働者の非正規化によって賃金引き下げが内部留保金を国の予算の2倍以上にふやす一方で内需拡大を妨げている。経団連は社会的責任を果たすべき。◆「人が人を育てる」ことが教育の原点であることから、GIGA(ギガ)スクール構想により児童・生徒に一人1台のタブレット端末を持たせることは教育の方法・手段であり、教育の目的ではない。(くぼた よしお)

## 11月写真通信

### 久保田市議の今年の質問一覧

#### ◆3月議会代表質問

- ・令和元年東日本台風(19号台風)災害に関すること
- ・市長の政治姿勢
- ・上田市を支える中小・小規模企業支援
- ・サントミュージアの検証結果
- ・地球温暖化防止対策など

#### ◆6月議会代表質問

- ・新型コロナウイルス感染症に対する基本的な見解
- ・国の第1次補正予算及び第2次補正予算への対応
- ・コロナ危機と指定管理者
- ・学校再開後の学校運営など

#### ◆9月議会(文書質問)

- ・令和元年東日本台風災害の復旧・復興について
- ・新型コロナウイルス感染症と避難所の開設・運営
- ・「地方分散」の重要性と可能性について
- ・コロナ危機と地域経済について

#### ◆12月議会一般質問

- ・市の財政(財政運営、合併特例債、地域振興基金(持ち寄り基金)について
- ・第32次地方制度調査会答申について
- ・経団連の「新成長戦略」(表記のまま)について
- ・GIGAスクール構想、第27回山城サミットについて

#### ◆2月上田地域広域連合議会一般質問

- ・消防行政について(消防職員定数など)
- ・広域観光について



【写真の説明】 <右上から下へ> ◇11月12日、共産党上田市議団が土屋市長へ82項目の予算要望書を提出し懇談。◇上田城跡公園の紅葉。晩秋の景色が広がっていた。◇上田市博物館の企画展「もう一度見ておきたい 上田市の水害」へ長瀬地区会議(まちづくり組織)として防災研修に。滝澤館長から展示物の解説をもらい参加者一同大変勉強になりました。

<左上から下へ> ◇令和2年度市政功労者表彰式。写真は特別表彰された無言館館主の窪島誠一郎さん。◇「オール野党で政権交代を」「コロナからくらしを守る」のプラスターを使いスタンディング。(長瀬の自宅前)◇第27回全国山城サミット上田・坂城大会がオンラインで開催された。歴史遺産としての山城の魅力がよくわかる企画でした。ユーチューブで配信されています。